

春日井市環境基本計画の改定の経過

1 春日井市基本計画の策定（2001年～）

- ・ いわゆる公害対策から地球環境問題を含む環境保全への転換期に策定。
- ・ 次世代に良好な環境を引継ぎ、持続可能な社会を構築していくため、市民・事業者・行政によるパートナーシップの形成を位置づけ。
- ・ 環境まちづくりの目標、取組、主体・パートナーシップ、進行管理を明らかにし、総合的・計画的に取組みを推進。

2 第2期計画（2007年～）

(1) 背景

計画策定後5年経過による、市民の意識や行動など環境を取り巻く状況の変化。

(2) 課題

- ・ 日常生活に起因する都市生活型の環境問題への対応（重点取組）。
- ・ 温室効果ガスの排出を抑制する地球温暖化対策の推進（重点取組）。

(3) 数値目標

- ・ 「ごみ廃棄量」及び「二酸化炭素排出量」に、家庭系と事業系の目標を追加設定。
- ・ 「環境まちづくり参加人数」に、「イベント等への参加人数」・「リーダー的な活動者」の目標を設定。

(4) 取組み

「健全な水循環の確保」、「自然環境の保全」、「ごみの減量」、「自動車による環境負荷の低減」、「協働によるまちづくりの推進」、「地球温暖化の防止」及び「生活環境の保全」について、重点的に取り組む。

3 第3期計画（2014年～）

(1) 背景

目標年度の折り返し地点。社会情勢の変化や施策の成果などを反映。

(2) 課題

- ・ 省エネルギーの促進・地域特性に見合った再生エネルギーの導入など、エネルギーの適正利用、低炭素社会の構築の推進（重点取組）。
- ・ 豊かな自然や身近な自然の将来世代への継承（重点取組）。
- ・ 資源循環社会形成のため、更なるごみの減量化や資源の有効活用の促進（重点取組）。

(3) 数値目標

- ・ 「ごみ廃棄量」及び「二酸化炭素排出量」について、市ごみ処理基本計画（2012年7月改定）及び市地球温暖化対策実行計画（2012年3月策定）に伴い見直し。
- ・ 「環境まちづくり参加人数」を「環境に関するイベント等への参加人数」に見直し。

(4) 取組み

地球環境保全する（低炭素社会）、自然を守り自然に親しむ（自然共生社会）、ごみを減らし資源を有効に活用する（資源循環社会）、市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める（連携・協働）について、重点的に取り組む。